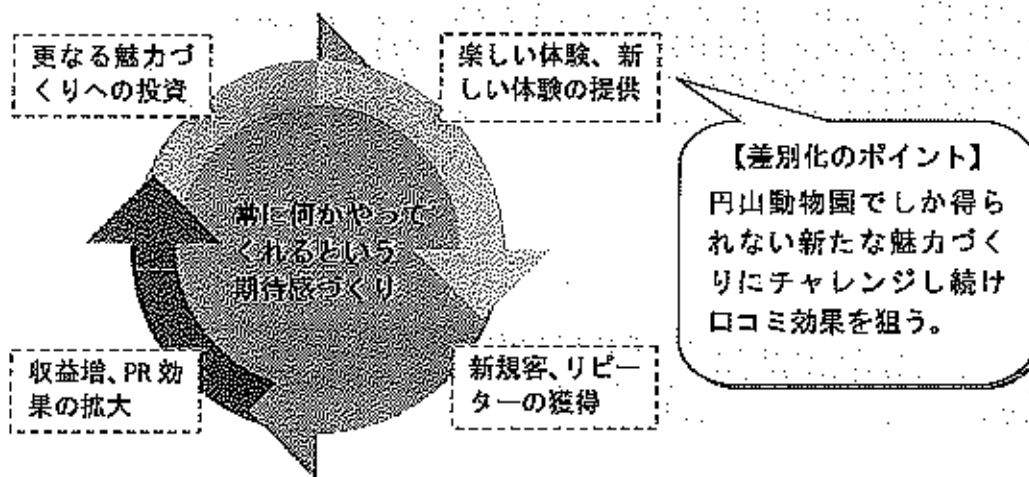


## 8. 事業展開の考え方(ソフト事業)

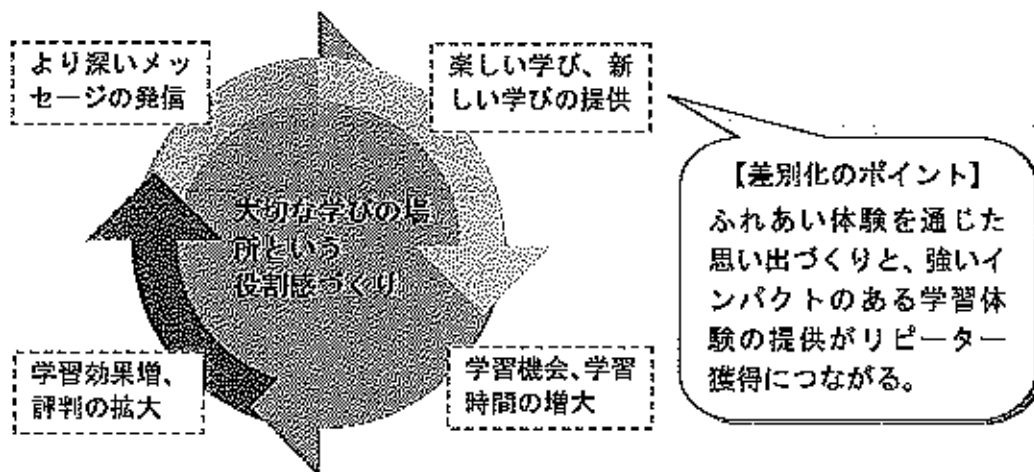
事業展開にあたっては、以下のような円山動物園ならではの差別化と好循環サイクルを意識した取り組みを行う。

「お客様を惹きつける」×「お客様にメッセージを伝える」＝効果的な事業展開

### ○ お客様を惹きつける好循環サイクル



### ○ お客様にメッセージを伝える好循環サイクル



これらの好循環サイクルを融合させながら、「惹きつけて、メッセージを伝える」ことを基調としつつ、より具体的に円山動物園の新たな魅力を発見し、新たな客層を対象とした取り組みを行う。また、これまでにない新たなPRを進め、より深く学べる仕組みをつくることにより、お客様から「欠かせない存在」として認知されるよう、単なる集客性や目新しさに左右されない「本物の動物園」を訴求するブランドづくりを行う。

## <計画概要>

### (1) 季節を感じさせる積極的なプロモーション展開

一年を通じて園内で四季の移り変わりを感じながら動物園を楽しんでもらえるよう、季節に合わせたプロモーションを行う。

季節ごとの楽しみ方を提案するとともに、ホームページにおいてもバナーの変更や特集ページの掲載を行い演出する。(18年度～)

### (2) 夜の動物園のプロモーション

夜行性動物の生態観察を通じて野生動物の多様性を伝える。また、普段活用してない夜の時間帯を有効活用し魅力アップ、集客につなげる。(18年度～)

### (3) 冬の動物園のプロモーション

ホッキョクグマやユキヒョウなど北方圏の寒い地域に生息する動物たちが、いきいきと行動する冬の生態観察を通じて野生動物の多様性を伝える。

また、集客が低迷する冬季の魅力開発を行い、集客につなげる。(18年度～)

### (4) 提案型イベントによる新たな魅力の開発

園内で行われるイベントは、職員だけで企画しているとマンネリ化を生むため、新たな視点でこれまでにないイベントを企画するべく民間企業やNPOなど多様なイベント主体からの提案を受け入れ、円山動物園の新たな魅力を開発する。(18年度～)

### (5) 宿泊体験型イベントの実施

夏休み、冬休みに宿泊体験型の学習イベントを実施し、通常では見ることのできない夜・早朝の動物の生態を探り知識を深め、飼育員と一緒に飼育体験をして動物と接する喜びや驚きを伝え、さらに食事に際しては動物と関連した食育を行う。(18年度～)

### (6) 大人向け体験イベントの実施

「大人も子どもも楽しめる動物園」を目指して、これまで「子ども」を対象としたイベントであった「一日飼育係」について、新たに大人をターゲットとして行う。

憧れの飼育員という仕事を体験したり、動物と間近で触れ合ったりしながら、癒しを求める大人が、子どもたちに遠慮せず楽しめるプログラムとする。(18年度～)

### (7) 新規イベントによる新たな客層の開発

これまで動物園にとって疎遠だった客層を対象とし、閉園後の夜の動物園を活用したイベントを開発する。特に「環境教育の拠点」「大人も楽しめる動物園」をアピールする

ため、環境に感心の高い大人で、かつ女性を中心に新しいイベントに敏感な20～30代や、趣味やレクリエーションに時間とお金をかけられる50～60代を対象に、夫婦やカップルでも楽しめるイベントを日指す。(18年度～)

(8) シニア層を対象とした市民参加型イベントの開発

地域に根ざした歴史ある動物園として幅広い年代層の市民が参加し支持される動物園を目指して、特にシニア層を対象としたイベントを開発する。

園内で活動し、その成果を発表することと、若者からシニアまで長年にわたって親しむことができる点から、アートをテーマとして行う。(18年度～)

(9) 親子向け体験イベントの実施

新規客層の開拓のため、新たに「親子での体験」をターゲットとしてイベントを行う。

職員だけでは発見できない円山動物園の魅力について市民、NPO、企業から提案を受け、協働型で開催する。世代間の交流や親子の思い出づくり、特に父子交流に着目した自然探検・昆虫探検を行う。(18年度～)

(10) 都会の癒しの場・レストスペースの創設

札幌ならではの「都会の動物園」の新たな楽しみ方として、動物好きに限らず、休日にふと立ち寄って自然の中で快適にのんびり過ごせる空間を創設することにより、子どもだけでなく大人にとっても癒しの場としてビジネスマン・OL層に客層を広げること为目标とする。施設面では、動物を眺めながら、長時間リラックスして滞在できるレストスペースを確保するとともに、園内にカフェやコンビニエンスストアを誘致し快適に長時間滞在できる環境を整える。(19年度～)

(11) 観光ツアーの誘致提案

円山動物園を札幌の観光素材として再構築し観光振興に役立てるため、「解説付き感動体験型ツアー」や「夜の動物園パーティプラン」など実験的なイベントを行い、実現可能性を検証する。旅行会社に対しては積極的に観光ツアー誘致を提案する。

特に東京・名古屋・大阪からの送客を目指し、将来的には「冬の動物園」を目玉にアジア圏からの送客を獲得することを目指す。(18年度～)

(12) Webを活用した新たなプロモーションの展開

来園前後の情報提供や告知を充実し、より動物への興味を喚起するとともに、ブログや動画など口コミ的要素の強い情報を活用することにより、新たな顧客の獲得とリピーターの定着を目指す。(18年度～)

(13) 新たなメディアを活用したプロモーションの展開

円山動物園の知名度を高めブランドを向上していくためには、動物園本来の活動の充実が最も重要であるが、これに加え多様化するメディア（媒体）に対応した取り組みが必要となるため、既存の新聞・テレビ・雑誌・広報誌・ホームページだけでなく、DVDや出版物など新たなメディアについても積極的に取り組んでいく。（18年度～）

(14) 教材ワークブック開発による小学校の総合学習誘致

動物の生態を通じて楽しみながら、命の大切さや環境メッセージを伝えるため、小学生（低学年・高学年の2種）を対象として、主に総合学習での活用を考えた教材を教員、研究者らと共同開発する。学習効果を高めるとともに「動物園＝環境教育の場」という認知を広げる。（19年度）

(15) 修学旅行誘致の拡大

環境教育の拠点であり生物多様性確保の基地でもある円山動物園を教育の場として活用するとともに、集客産業の一環として本州からの修学旅行誘致を推進する素材として積極的にプロモーションしていく。（19年度～）

(16) 市民ボランティアの活動分野の拡大

「市民が支え、市民がつくる、市民が主役の動物園」を目指し、これまでも行ってきた動物園ガイドボランティアをより充実させるとともに、イベント、ふれあい指導、園芸・修繕、清掃等の活動全般に市民ボランティアを拡大させていく。（19年度～）

(17) 動物の魅力をより深く伝えるための取り組み

動物の魅力を再発見できる「動物特集」や、飼育員自らが語り手となるセミナーなどを通じて、動物の魅力をより深く伝えていくことにより、楽しみながら学べる機会を増やす。（18年度～）

項目名	役割	行動指針	実施時期
季節を感じさせる積極的なプロモーション展開	-	1	18年度

## 概要

一年を通じて園内で四季の移り変わりを感じながら動物園を楽しんでもらえるよう、季節に合わせたプロモーションを行う。  
季節ごとの楽しみ方を提案するとともに、ホームページにおいてもバナーの変更や特集ページの掲載を行い演出する。

## &lt;季節ごとのテーマ&gt;

春 花見・芝生でピクニックの提案

夏 納涼イベントと夜の動物園

秋 紅葉と樹木紹介

冬 北方圏動物の紹介とイルミネーション、雪遊び

## スケジュール

2006年（平成18年）5月～	花見・ピクニックの特集ホームページ掲載
2006年（平成18年）8月～	「夜の動物園」開催日数の拡大
2006年（平成18年）12月～	「冬の動物園」で北方圏動物の紹介、冬イベントの充実
2007年（平成19年）2月～	スノーフェスティバル開催（氷のすべり台等）
2007年（平成19年）8月～	「真夏の雪まつり」開催（雪30トン搬入）
2007年（平成19年）10月～	「樹木マップ」制作、紅葉の特集ホームページ掲載

## 参考図表等



夜の円山動物園



冬の円山動物園

季節で変わるロゴマーク



春は芝生でピクニック



秋は紅葉が楽しめる



夏の定番 夜の動物園

項目名	役割	行動指針	実施時期
夜の動物園のプロモーション	1	1	18年度

## 概要

夜行性動物の生態観察を通じて野生動物の多様性を伝える。また、普段活用してない夜の時間帯を有効活用し魅力アップ、集客につなげる。

## イベント名「夜の動物園」

開園時間を午後9時まで延長し、普段見ることのできない夜の動物園の様子や、猛獣やシロフクロウなどの夜行性の動物の行動を見学できる。

当日は、熱帯動物館やサル山の手すりの外周などをイルミネーションでライトアップし、アザラシのプールを水中照明で照らす。

飼育員による解説付きの「みんなのドキドキ体験」も多数行う。

2005年度(平成17年度)までは2日間のみで開催だったが、これを拡大した。

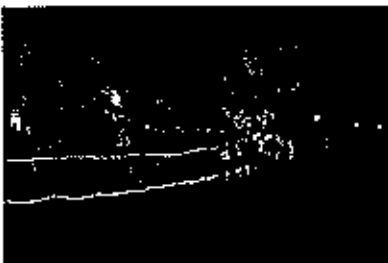
## スケジュール

## 18年度実施済

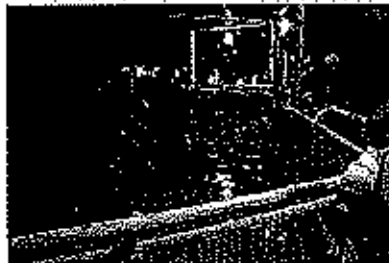
<18年度> 2006年(平成18年)8月11日(金)～15日(火) 5日間

<19年度> 2007年(平成19年)7月28日(土)・8月4日(土)・11日(土)・14日(火)・15日(水)・18日(土)・25日(土) 7日間

## 参考図表等



幻想的にライトアップされたサル山



夜も人だかりのペンギン



デンパンジー館のドキドキ体験



夜の円山動物園

項目名	役割	行動指針	実施時期
冬の動物園のプロモーション	1	1	18年度

## 概要

ホッキョクグマやユキヒョウなど北方圏の寒い地域に生息する動物たちが、生き活きと行動する冬の生態観察を通じて野生動物の多様性を伝える。  
また、集客が低迷する冬季の魅力開発を行い、集客につなげる。

## ＜展開事例＞

- ・「冬の動物園」を盛り上げるポスター、看板の掲示
- ・冬季開園をアピールするための「広報12月号無料クーポン」
- ・「冬の動物園」期間(12～3月)のイベント群(サンデーセミナー、クリスマス、干支動物展等)
- ・雪まつりとタイアップした集客イベント「スノーフェスティバル」

## スケジュール

## 18年度実施済

クリスマスリースづくり(平成18年12月3日)

冬の日飼育係(12月26～28日)

干支イノシシ特別展示(12月2日～)

元旦甘酒・コーンスープ無料サービス(1月1日)

お泊り会ナイトキャンプ(1月6～7日)

年賀状コンクール(1月27日～)

環境オニ退治(2月3日)

スノーフェスティバル(2月4～12日)

レディーウィーク(2月24日～3月4日)誕生会、ひなまつり

サンデーセミナー(1月～毎週日曜)/飼育員の動物講座、円山自然塾、大人の一日飼育係

## 参考図表等



幻想的な冬の園内



シロフクロウ



冬毛のオオカミ



冬の円山動物園

項目名	役割	行動指針	実施時期
提案型イベントによる新たな魅力の開発	-	1	18年度

概要

園内で行われるイベントは、職員だけで企画しているとマンネリ化を生むため、新たな視点でこれまでにないイベントを企画するべく民間企業やNPOなど多様なイベント主体からの提案を受け入れ、円山動物園の新たな魅力を開発する。

＜提案型イベントの実施例＞

「どうぶつ絵本の読み聞かせ」(18年12月実施済)

地元FM放送のアナウンサーや子育てNPOからの提案により実現

「まるまるアニマル人形劇」(19年8・9月実施済)

ブログサイトを運営する民間企業からの提案により実現

いずれも特に子育て世代を対象とし、動物を題材にした絵本や人形劇を見て、実際の動物を観察することにより親子での教育効果を高めるイベントとして初めて実現した。

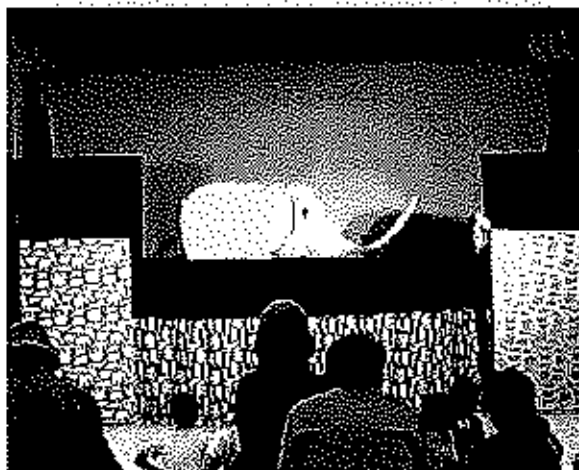
スケジュール

随時実施

参考図表等



読み聞かせに夢中の子どもたち  
(サル山展望レストハウス)



大人も一緒に楽しんだ人形劇  
(動物科学館ホール)



項目名	役割	行動指針	実施時期
宿泊体験型イベントの実施	1	1	18年度

## 概要

夏休み、冬休みに行う学習イベント。サル山展望レストハウスに寝袋で宿泊するお泊り会。  
通常では見ることのできない、夜・早朝の動物の生態を探り知識を深め、飼育員と一緒に飼育体験をして動物と接する喜びや驚きを伝え、さらに食事に際しては動物と関連した食育(食物連鎖の話)を行う。

## イベント名「ナイトキャンプ」

JTB北海道の主催による夜の動物園学習お泊り会

主な内容:フィールドワーク、食育レクチャー、ナイトツアー(夜の動物園視察)、作業場案内

対象:小学校3年生以上(高学年の兄弟参加の場合は小学校1、2年生の参加も可能)

募集人数:20名

参加費:8,000円(宿泊、夕食、朝食、損害保険代含む)

## スケジュール

## 18年度実施済

- <第1回> 2006年(平成18年)8月5日(土)～6日(日)
- <第2回> 2007年(平成19年)1月6日(土)～7日(日)
- <第3回> 2007年(平成19年)8月16日(金)～17日(土)
- <第4回> 2008年(平成20年)1月10日(木)～11日(金)

## 参考図表等



飼育体験で学ぶ子どもたち



食育「いただきます」の意味



お楽しみ夜の探検ツアー

項目名	役割	行動指針	実施時期
大人向け体験イベントの実施	1	1	18年度

概要

「大人も子どもも楽しめる動物園」を目指して、これまで「子ども」を対象としたイベントであった「一日飼育係」について、新たに大人をターゲットとして行う。  
 憧れていたけどなれなかった飼育員という仕事を体験したり、動物と間近で触れ合いながら癒しを求める大人が、子どもたちに遠慮せず楽しめるプログラムとする。

イベント名「大人の一日飼育体験」

- ・飼育体験  
参加者1名と飼育員1名がペアとなり、各動物舎で飼育体験を行う。
- ・飼育員との懇談会  
昼食をとりながら動物園紹介ビデオを上映し、その後飼育員との懇談会を行う。
- ・動物病院体験プログラム  
獣医師の仕事や動物病院の役割などをスライドで紹介し、診療体験等を行う。

スケジュール

18年度実施済

- <第1回> 2007年(平成19年)2月18日(日)・25日(日) 各日11名
- <第2回> 2007年(平成19年)6月10日(日)・24日(日) 各日10名
- <第3回> 2007年(平成19年)11月11日(日)・18日(日) 各日10名
- <第4回> 2008年(平成20年)2月17日(日)・3月23日(日) 各日10名

参考図表等



動物舎の清掃から参加



キリンへのエサやりを体験



動物病院でウサギに聴診器

項目名	役割	行動指針	実施時期
新規イベントによる新たな客層の開発	-	1	18年度

## 概要

これまで動物園にとって疎遠だった客層を対象とし、閉園後の夜の動物園を活用したイベントを開発する。  
特に「環境教育の拠点」「大人も楽しめる動物園」をアピールするため、環境に感心の高い大人で、かつ女性を中心に新しいイベントに敏感な20～30代や趣味やレクリエーションに時間とお金をかけられる50～60代を対象に、夫婦やカップルでも楽しめるイベントを目指す。

## イベント名「円山ZOO LOHASナイト」

夜の動物園で、ソムリエ厳選の北海道産ワインを傾けながら、プロの演奏家によるフルートやバイオリンをBGMに動物たちと間近でふれあい、道産食材をふんだんに使った市内一流ホテル総料理長オリジナルの地産地消オードブルプレートを楽しむ。食事後のLOHASセミナーでは飼育員からとっておきの裏話や動物たちの環境メッセージなどを紹介。人と動物と環境が共存するためのライフスタイルを考えるきっかけとなるイベント。

【主催】ZOO LOHASナイト準備委員会

## イベント名「恋人たちのクリスマスナイトZOO」

ロマンチックに電飾した夜の動物園をカップルで散策し、園長サンタからトナカイの角で作ったストラップをプレゼントする。

## スケジュール

## 「円山ZOO LOHASナイト」

2006(平成18)年度 8・11月(延べ6回)開催

2007(平成19)年度 6・9・11月(延べ8回)開催

2008(平成20)年度 本州向け観光ツアーとして展開予定

## 「恋人たちのクリスマスナイトZOO」

2007年(平成19)年度 12月開催

## 参考図表等



ムードある幻想的な夜の空間



おしゃれして来園する大人たち



若い女性に人気のふれあい

項目名	役割	行動指針	実施時期
シニア層を対象とした市民参加型イベントの開発	-	1	18年度

**概要**

地域に根ざした歴史ある動物園として幅広い年代層の市民が参加し支持される動物園を目指して、特にシニア層を対象としたイベントを開発する。  
園内で活動し、その成果を発表することと、若者からシニアまで長年にわたって親しむことができる点から、アートをテーマとして行う。

**イベント名「円山動物園芸術祭」**

園内の動物をモチーフに市民が気軽に参加でき園内でスケッチや撮影を行い、作品としての彫刻や写真、絵画、絵手紙などを展示することで、多くの来園者とリピーターが期待できる。  
出展者はシニアに限定せず、多様な年代がそれぞれの表現方法で動物の魅力を伝えた。

**スケジュール**

18年度実施済

<第1回>2006年(平成18年)10月21~29日

<第2回>2007年(平成19年)10月6~28日

**参考図表等**

リーフアート



絵手紙



バードカービング



絵画

項目名	役割	行動指針	実施時期
親子向け体験イベントの実施	1	1	18年度

## 概要

新規客層の開拓のため、新たに「親子での体験」をターゲットとして行うイベント。職員だけでは発見できない円山動物園の魅力について市民、NPO、企業から提案を受け、協働型で開催する。世代間の交流や親子の思い出づくり、特に父子交流に着目した自然探検・昆虫探検を行う。

## &lt;展開事例&gt;

・円山自然塾(18年度)

NPO法人ねおすによる円山登山道の散策と円山に生息する生き物を学ぶセミナー。動物園サンデーセミナーとして3回実施

・円山昆虫探検隊(19年度)

学校関係者の協力により園内の昆虫を探索・解説

## スケジュール

18年度実施済

・円山自然塾 2007年(平成19年)3月4日(日)・18日(土)・25日(土)

・円山昆虫探検隊 2007年(平成19年)7月23日(月)～8月18日(土)の中の12日間

## 参考図表等



スノーシュー(かんじき)を履いて円山散策  
円山自然塾の親子散策の様子

項目名	役割	行動指針	実施時期
都会の癒しの場・レストスペースの創設	-	1	19年度

**概要**

札幌ならではの「都会の動物園」の新たな楽しみ方として、動物好きに限らず、休日にふと立ち寄って自然の中で快適にのんびり過ごせる空間を創設することにより、子どもだけでなく大人にとっても癒しの場としてビジネスマン・OL層に客層を広げることを目標とする。  
 既存施設では、平成17年度竣工のサル山展望レストハウスに象徴されるように動物を眺めながら、長時間リラックスして滞在できるレストスペースを確保するとともに、園内にカフェやコンビニエンスストアを誘致し快適に長時間滞在できる環境を整える。

**<想定する過ごし方>**

- ・休日にのんびりニホンザルを見ながら読書
- ・コーヒーを片手にウッドデッキに座ってエゾシカ観察
- ・芝生やキリンの前のベンチに座ってちょっとしたピクニック
- ・ピオトープで昆虫観察しながら森林浴を兼ねて散歩 等

**スケジュール**

2007年度(平成19年度)  
 平成20年3月に竣工予定の北方圏施設(エゾシカ・オオカミ舎)の観覧スペースに、自然の中で快適にのんびり過ごせる空間を設ける。

2008年度(平成20年度)以降  
 動物舎の建設等に合せて、可能な限り動物だけでなく、観覧者もゆったりとのんびり過ごせるスペースを創出する。また、施設の建設・改修以外でも、眺めの良い木陰(日陰)にベンチを設置すること等の実現を図っていく。

**参考図表等**



時間を忘れてのんびり過ごせる  
 サル山展望レストハウス  
 (2006年エンリッチメント大賞受賞)



来園者が快適に過ごせるよう  
 空間に配慮して設計した  
 新しいエゾシカ・オオカミ舎

項目名	役割	行動指針	実施時期
観光ツアーの誘致提案	3	1	18年度

概要

円山動物園を札幌の観光素材として再構築し観光振興に役立てるため、「解説付き感動体験型ツアー」や「夜の動物園パーティプラン」など実験的なイベントを行い実現可能性を検証するとともに、旅行代理店に対して積極的に営業活動を行い観光ツアー誘致を提案する。特に東京・名古屋・大阪からの送客をターゲットとし、将来的には「冬の動物園」を目玉にアジア圏からの送客を獲得することを目指す。

<観光素材となりうるイベント>

- ・みんなのドキドキ体験
- ・飼育員セミナー&裏側探検
- ・円山ZOO LOHASナイト
- ・ナイトキャンプ(お泊り会)
- ・大人の日飼育係
- ・スノーフェスティバル(氷のすべり台)

スケジュール

2006年(平成18年)9月 札幌旅行商品造成会議(東京)において旅行代理店各社に提案  
 2007年(平成19年)8月 「親子で感動!北海道ちびっこ動物園自然教室」商品化/地球温暖化とホッキョクグマの学習  
 2007年(平成19年)10月 首都圏シティPRイベント(お台場パレットタウン)出展  
 2007年(平成19年)11月 札幌観光セミナー「ラウンドテーブル2007」(東京・名古屋・大阪)旅行代理店関係者約200名にプレゼンテーション  
 ※現在、「解説付き感動体験型ツアー」及び「夜の動物園パーティプラン」が商品化決定。

参考図表等



項目名	役割	行動指針	実施時期
Webを活用した新たなプロモーションの展開	-	1	18年度

概要

来園前後の情報提供や告知を充実し、より動物への興味を喚起するとともに、ブログや動画など口コミ的要素の強いメディアを活用することにより新たな顧客の獲得とリピーターの定着を目指す。あわせてSEO(サーチエンジン対策)を実施し検索優位を獲得する。

<具体的な取り組み>

- ・公式サイトのリニューアル  
より楽しく、動物園の役割やイベントスケジュール、新着動物などの情報を詳細に伝える
- ・市民サイト「Webシティさっぽろ」観光サイト「ようこそさっぽろ」との連携  
相互リンクにより検索優位を保つとともに、新たな顧客開拓の窓口とする
- ・携帯サイト「みんなの円山動物園」/ふれあい体験スケジュールを毎日更新
- ・飼育員ブログ「札幌100マイル」/飼育員自ら情報発信し魅力を伝える
- ・ブログパーツ「ブログ猿」/ニホンザルをモデルにしたブログパーツで公式サイトに誘導する
- ・動画サイト「Maruyama Zoo Channel」/動画による貴重映像や飼育員解説で話題性を喚起する

スケジュール

2006年(平成18年)6月	公式サイトリニューアル
2006年(平成18年)9月	携帯サイト開始(日本初)
2007年(平成19年)2月	飼育員ブログ開始(道内初)
2007年(平成19年)7月	ブログパーツ配信開始(日本初)
2007年(平成19年)9月	動画サイト開始(スポンサー支援型としては日本初)

参考図表等

<用語解説>

- ・SEO(サーチエンジン最適化)  
インターネットの検索エンジンで上位に表示されるようにサイトの構成を工夫しより多くの方がサイトを訪れるようにすること。
- ・ブログ(blog)  
Web logの略語。インターネット上に公開された日記形式のホームページ。
- ・ブログパーツ  
ブログやホームページに貼り付けることができるアイテム。  
時計やゲームなど様々な種類がある。



日本初の円山動物園オリジナル・ブログパーツ  
ニホンザルがHP上を歩き回る。





項目名	役割	行動指針	実施時期
新たなメディアを活用したプロモーションの展開	-	1	18年度

概要

円山動物園の知名度を高めブランドを向上していくためには、動物園本来の活動の充実が最も重要であるが、これに加え多様化するメディアに対応した取り組みが必要となるため、既存の新聞・テレビ・雑誌・広報誌・ホームページだけでなく、新たなメディアについても積極的に取り組んでいく。円山動物園の果たしている役割や高い技術力、他の動物園にない魅力を複数のメディアを通じて継続的に発信し、エピソードを蓄積していくことによりストーリー感を持たせ再生の起爆剤としていく。

<想定する展開>

プロモーションDVDを制作し、市内小学校などの教育機関や旅行代理店、報道関係者に配布するとともに、絵本や写真集などの出版物についても検討を行う。  
 様々なフリーペーパーについてもメディアとして捉え、露出の機会を獲得する。  
 また、書籍化・ドラマ化・映画化なども将来的には視野に入れてプロモーション活動を行う。

スケジュール

- 2006年(平成18年)～ 環境フリーペーパー「HOSHI-HITO」に掲載
- 2007年(平成19年)～ 食育フリーペーパー「のこたべ」に掲載
- 2007年(平成19年)12月 プロモーションDVD制作
- 2008年(平成20年)1月 アジアゾウ花子のブックレット制作

参考図表等



長年のファンからの熱い要望により  
花子の一周忌にはブックレットを制作

項目名	役割	行動指針	実施時期
教材ワークブック開発による小学校の総合学習誘致	1	1	19年度

## 概要

動物の生態を通じて楽しみながら、命の大切さや環境メッセージを伝えるため、小学生(低学年・高学年の2種)を対象として、主に総合学習での活用を考えた教材を教員、研究者らと共同開発する。学習効果を高めるとともに小学生から「動物園＝環境教育の場」という認知を広げる。

教材は、A4版4～5ページで授業で扱える程度のボリュームとし、短時間の授業でも十分にメッセージが伝わる内容とする。

また、活用した教員が自由に改良できるよう教材そのものをデータでWeb配信し、利用者の声をもとに改良を重ねていく。

## スケジュール

2007年度(平成19年度) 研究者・教員・飼育員による編集チーム設置、教材開発、学校配布  
2008年度(平成20年度) 総合学習での活用、随時内容を更新しながらバージョンアップ

## 参考図表等



ホッキョクグマはどうして絶滅しそうなの？ 森林は今どんな状況にあるのだろう？

項目名	役割	行動指針	実施時期
修学旅行誘致の拡大	3	1	19年度

## 概要

環境教育の拠点であり生物多様性確保の基地でもある円山動物園を教育の場として活用するとともに、集客産業の一環として本州からの修学旅行誘致を推進する素材として積極的にプロモーションしていく。

園内では、動物の生態を学ぶだけでなく、地球温暖化により絶滅危惧種となったホッキョクグマなどを通じて地球環境問題について学ぶことができ、なおかつ都会にありながら円山原始林に隣接し自然豊かな環境で北海道の野生動物(エゾリスやエゾモモンガなど)について触れ合いながら体験学習が可能である。

また、園が取り組む「北海道の野生動物復元プロジェクト」のオオワシ、シマフクロウ、オオムラサキ、ニホンザリガニなどの野性復帰について学ぶことにより、全国各地においても地元の生態系を守ることの重要性を訴えることができる。

このほか、飼育員や獣医といった職業体験のメニューもあり、多様な学習機会を提供できる。

## &lt;具体的な誘致策&gt;

修学旅行用に園内の教育プログラムをまとめ、札幌市東京事務所を通じて誘致活動を行う。

## スケジュール

2007年度(平成19年度)誘致活動実施済

## 参考図表等

## &lt;動物園学習のメニュー例&gt;

## ●来園人数40名以下(40～60分程度)

- (1) 質疑応答(動物科学館ホール・体験学習室を使用)
- (2) 裏側案内  
飼料庫(餌の説明)、動物病院(日本初の公開型病院)、熱帯動物館(動物の生態説明)

## ●来園人数40名以上(30分程度)

- (1) 質疑応答(動物科学館ホールを使用)
- (2) ビデオ学習
- (3) ガイダンス
  - ・絶滅危惧種について(レッドデータブックの動物たち)
  - ・環境教育(地球温暖化・森林破壊・オゾン層の破壊)
  - ・種の保存
  - ・野生復帰 など

項目名	役割	行動指針	実施時期
市民ボランティアの活動分野の拡大	-	1	19年度

## 概要

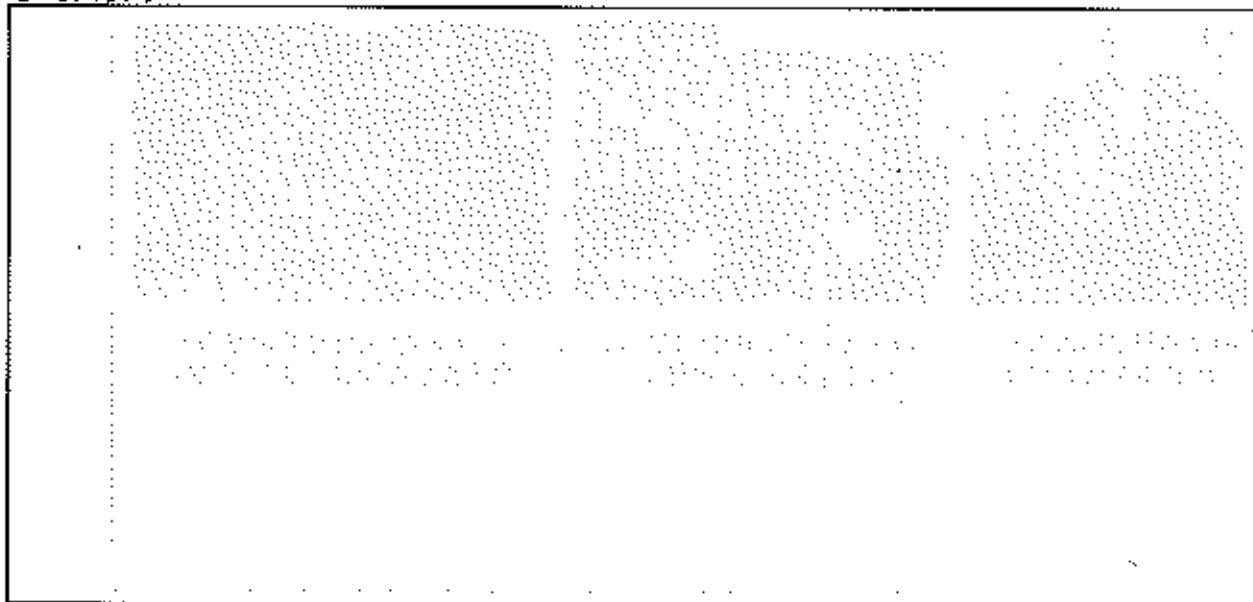
「市民が支え、市民がつくる、市民が主役の動物園」を目指し、これまでも行ってきた動物園ガイドボランティアをより充実させるとともに、イベント、ふれあい指導、園芸・修繕、清掃等の活動全般に市民ボランティアを拡大させていく。

- ・ガイドボランティア  
ポイントガイド、ガイドツアー、ニュースレター発行(19年10月時点 登録者数120名)
- ・イベントにおけるボランティア  
様々なイベントに実行委員会もしくは個人として参加・協力を行う。運営スタッフ、写真撮影など。
- ・ふれあい指導におけるボランティア  
大学生を中心にこども動物園でのふれあい指導や環境教育の手伝いを行う。
- ・園芸・修繕におけるボランティア  
錆びた手すりの塗装ボランティアや植樹・植生調査などを行う。
- ・清掃等におけるボランティア  
園内のごみ拾いや雑草抜きなどの手伝い、園内のデザインや来園者のための改善箇所の調査など。

## スケジュール

- ・動物園ガイドボランティア制度(平成10年4月～継続実施)
- ・イベントボランティア(随時実施済)
- ・ふれあい指導(酪農学園大学学生により19年度実施済)
- ・園芸(小学生と塗装組合により例年実施済)
- ・修繕(植生調査は札幌科学技術専門学校生徒により19年度実施済)
- ・清掃(中学生、高校生等により随時実施済)
- ・園内調査(札幌市立大学生により18年度実施済)

## 参考図表等



項目名	役割	行動指針	実施時期
動物の魅力をより深く伝えるための取り組み	1	1	18年度

## 概要

ソフト事業の展開にあたっては、新たな魅力づくりにより「お客様を惹きつけ」、新たな学びづくりにより「メッセージを伝える」という2つのサイクルを融合させ、円山らしさや体験を織り交ぜることにより、楽しく学べる、面白くて役に立つ「とっておきの場所」としてのブランドを構築していく。  
特に動物の魅力を再発見できる「動物特集」や、飼育員自らが語り手となるセミナーなどを通して、動物の魅力をより深く伝えていく。

## &lt;展開事例&gt;

- ・飼育員の動物講座(サンデーセミナー)
- ・文化講座、区民講座の園内開催
- ・飼育員による出前講座
- ・飼育員のドキドキトーク
- ・チンパンジー特集「レディウィーク」
- ・は虫類特集「スネークアート展」

## スケジュール

18年度実施済

## 参考図表等



飼育員の動物講座は大人も子どもも楽しめる人気イベント



パネルやビデオで詳しく学べる「レディウィーク」の様子



アートを通じては虫類の魅力を再発見する「スネークアート展」